

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 2 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の高齢化と介護度が高くなっている現状や2、3階の居住空間を鑑みて、全体で日頃から夜間、自然災害時の避難誘導方法や経路を話し合い、それに基づいた計画作成とミニ訓練の繰り返しを期待する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は防火管理者と火災のみにとらわれず、災害時の避難誘導訓練の企画を行い、災害をも想定した高齢者の避難誘導訓練を実施する。 ・自治会とも連携を取り、災害に関する研修及び非常時の物品の共有で地域での施設での役割を位置づける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の避難誘導訓練の実施において、避難経路及び避難方法の再確認が行える訓練を実施する。 ・非常用自家発電設備や備蓄(水・食料)の確保状況を自治会に情報提供を行い、相互に非常時の協力体制がとれる関係性を確保する。 	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。